

# 天井裏に何かがいる

社東京都ベストコントロール協会 理事 田中 生男

### —質問—

私の家の周りは木造家屋で、少し離れたところに小さな森があります。最近、天井裏でゴソゴソと音がします。どうもネズミのように軽やかに走り回ることではなく、もっと大きな動物が潜り込んでいるようですが、なかなか姿を見ることがないので何がいるのかわかりません。何がいるのでしょうか。また、どうすればよいのでしょうか。

### —答え—

#### どんな動物がいるのか

音だけで判断するのはなかなか難しいのですが、ご質問の内容から推察すると、ハクビシンかアライグマが入り込んでいるのではないかと思います。とくにハクビシンは屋根裏などに入り込む習性があるので、最近では、東京都でハクビシンの相談が多く寄せられています。一般住宅でハクビシンの子供がネコと一緒に炬燵に入っていたという例もあるようです。鉢合わせでもしない限り、直接、人間を襲って危害を加えることはありませんが、悪臭や尿によるシミ、ダニなどの寄生虫をばらまくことがあります。アライグマでは感染症媒介の心配もされています。

どちらもタヌキのような姿をして、一見愛らしい顔つきの動物です。

ハクビシンは体の長さが60cmくらいで、額(ひたい)から鼻にかけて白い帯が走っています。また40cmくらいの尾を持っています。ア

ライグマなど外国原産の輸入種で、かなり古い時期にペットとして飼われていたものが野生化したと考えられています。雑食性でネズミなどの小動物やカキなどの果実を食べます。

アライグマは40～60cmくらいの大きさで、ふさふさした尾に黒い横縞があるのが特徴で、目の周りはパンダのように黒く縁取られています。こちらは近年になって海外から入ってきた動物です。住宅にも入り込み食物や生ゴミを漁ります。

ですから、姿を見ることができればすぐにどちらか判断が付くと思います。いずれも長い間棲みついていると糞が堆積して悪臭がするようになりますし、尿によって天井にシミが現れてきます。



図1 ハクビシン(佐藤つかさ原図)

#### どこから入り込んだのか

ハクビシンは1m以上もジャンプできるので、庭木をのぼって入り込むことができます。隙間が10cm前後あれば屋内に侵入するのに十分といわれていますので、勿論、屋根と壁

の隙間や床下から容易に侵入することもできます。このような場所は、追い出しや捕獲が終わった後、確実に塞がなければなりませんから、入り込みそうな隙間を見つけ出すことは非常に重要です。人が普段あまり気づかないところに隙間があるかもしれません。アライグマの場合も、同じような隙間から侵入します。

### どうすればよいか

#### 追い出す

追い出す方法は煙でいぶしたり、大きな音を出したりして追い払うのですが、十分に効果があるかどうかは状況にもよるので、一概には言えません。

煙では燻煙剤をたいて煙を天井裏などに充満させるといったようなことをするのですが、建物の構造や隙間、脱出場所がどこにあるかによっても効果が違います。



図2 アライグマ(佐藤つかさ原図)

やや荒手の方法としては、実際に天井裏に潜り込んで直接追い払うという手もありますが、ひっかかれたりする場合がありますので、よほど注意して実施する必要がありますし、一般の方が行うことはお奨めできません。

#### 捕獲する

捕獲は罠などによります。ハクビシンやアライグマは鳥獣保護法の対象になっています

が、同時に狩猟鳥獣にも指定されています。両種とも捕獲許可を取ることができますが、誰でもいつでも捕獲できるというものではありません。アライグマの場合は外来生物法で駆除の認定を取れば、狩猟免許はいりませんが、計画的な駆除でなければいけないので、単発での駆除の認定はとれません。また、アライグマはその場で殺すしかありません。認定のためには東京都を通して環境大臣に外来生物駆除の申請を行わなければなりません。さらに捕獲するためには講習を受けて「狩猟免許」を取得することが必要なのです。狩猟免許は罠で捕獲する場合も、銃で捕獲する場合も同じです。いずれにしても、ハクビシン、アライグマ等については鳥獣保護法、外来生物法、動物愛護法など駆除や捕獲、その後の取り扱いなどに様々な法律が関わっています。また、駆除が実施できる地域や時期などにも多くの規制がありますから、個人で行うにはなかなか厄介です。

#### 専門家に依頼する

このように考えてくると、対策はいずれも簡単にはいかないもので、保健所に連絡して対応に関して相談するのが良いでしょう。(社)東京都ペストコントロール協会では有料ですが、ご依頼があればそうした専門業者を紹介しています。保健所から委託を受けた業者で狩猟免許を持っている業者であれば適切に対応してくれます。もし、それらの動物が気づかない間にかかなり長い期間屋根裏などにいたとすると、その場所の糞の除去や消毒も必要になりますので、ますます個人で行うのは困難になります。つまり一旦屋内に潜り込まれてしまうと、一般の人では非常に対応しにくい動物ということになります。